



法人
対象

第2回

ペロブスカイト 太陽電池フォーラム

— 早期社会実装の突破口を探る。 —

11/26 2024 Tue. 13:30-16:30

13:00 受付開始

目的

ペロブスカイト太陽電池の最新の開発状況や実証実験結果の情報を共有し、同電池の特性を生かした新たな活用方法について考え、今後、様々なノウハウを持つ企業がペロブスカイト太陽電池を活用した製品やサービスを展開することによって、脱炭素社会が早期実現されることを目的とします。

開催概要

会場	パシフィコ横浜ノース G301会場 (横浜市西区みなとみらい1丁目1-2)
対象	法人の方
定員	100人(申し込み先着順) ※一団体2名様迄
参加費	お1人様1,000円 ※事業所が横浜市内にいる企業からの参加者は無料
お申し込み お問合せ	https://ws.formzu.net/fgen/S72903550/ 桐蔭学園トランジションセンター TEL:045-975-2100 Mail:transition@toin.ac.jp
締切	2024年11月22日(金) 10:00まで ※申し込み締切後の変更、キャンセルはできません。



MAP



ACCESS

▼詳しいご案内はこちら



みなとみらい駅から徒歩5分

▶「2番出口(いちよう通り口)」より、けいゆう病院方面へお進みください。

桜木町駅から徒歩12分

▶みなとみらい方面に進み「動く歩道」を利用します。そのままショッピングモール「ランドマークプラザ」(3F)、「クイーンズスクエア」(2F)を通り抜け、陸橋(クイーンモール橋)を渡ります。

共催:学校法人桐蔭学園・横浜市

YOKOHAMA GO GREEN

軽量フレキシブルなペロブスカイト太陽電池の社会実装に向けて



宮坂 力

学校法人桐蔭学園

桐蔭横浜大学 医用工学部 特任教授

1981年東京大学大学院工学系研究科修了(工学博士)。
富士写真フイルム株式会社足柄研究所主任研究員を経て2001年より桐蔭横浜大学大学院工学研究科教授。2005年から2010年に東京大学大学院総合文化研究科客員教授を兼務。
2004年にペクセル・テクノロジーズ株式会社を設立、代表取締役。2017年より桐蔭横浜大学特任教授。専門は光電気化学、有機系の光電変換技術、とくにペロブスカイト太陽電池の開発。
受賞は、クラリベートアナリティクス引用栄誉賞(2017年)、加藤記念賞(2018年)、市村学術賞功績賞(2020年)、山崎貞一賞(2020年)、英国RANK賞(2021年)、日本学士院賞(2024年)、第73回神奈川文化賞(2024年)など。

事例紹介

横浜港大さん橋で行う ペロブスカイト実証事業の解説



阿部 博

株式会社マクニカ
イノベーション戦略事業本部
サーキュラーエコノミービジネス部 主席

横浜港大さん橋でR5年度から行っているペロブスカイト太陽電池(PSC)の社会実装実証事業の進捗状況とR6年度・R7年度の狙いと今後の展開について解説。今後の社会での活用モデルを紹介する。

ペロブスカイト太陽電池モジュールの新展開 シースルーモジュール、超高効率タンデムモジュール開発



山本 憲治

株式会社カネカ 常務理事
太陽電池薄膜研究所 所長

ペロブスカイト太陽電池モジュールの新展開として、両面受講型シースルーモジュール、さらにペロブスカイトとヘテロ接合結晶Siとを組み合わせた超高効率タンデムモジュール技術開発状況を報告する。

対談

社会実装への突破口は？国内企業の開発動向を探る。



山口 豊

テレビ朝日 ビジネスソリューション本部
コンテンツ編成局
アナウンス部 上級マネジャー



池上 和志

学校法人桐蔭学園
桐蔭横浜大学 医用工学部 教授
大学院工学研究科 研究科長 医用工学部臨床工学科 学科長

交流会

ペロブスカイト太陽電池の製造、用途開発の最先端情報を有する登壇者の皆さまとの交流会を実施します。ペロブスカイト太陽電池の製造・用途開発にご興味のある企業の皆さまは、お気軽にご参加ください。

お申込み

下記ウェブサイトよりお申し込みください

<https://ws.formzu.net/fgen/S72903550/>

※お電話やメールでのお申込みはお受けできません。



スマホからの
申し込みは
こちら



学校法人 桐蔭学園

**トランジション
センター**

〒225-8502 横浜市青葉区鉄町 1614 番地

<https://www.toin-tc.com/>

☎ 045-975-2100 ✉ transition@toin.ac.jp

受付時間：

10:00 ~ 17:00

(土曜日は 14:00 迄)

